



I 第 47 週の発生動向 (2025/11/17~2025/11/23)

- インフルエンザについては、中南保健所管内、三戸+八戸市保健所管内、西北保健所管内及び下北保健所管内の定点当たり報告数が注意報レベルから**警報レベル**となりました。また、東津軽+青森市保健所管内及び上北保健所管内では**警報**が継続しています。引き続き新型コロナウイルス感染症の予防も兼ねて、ワクチン接種を含めた基本的な感染対策の徹底をお願いします。
- 水痘については、東津軽+青森市保健所管内の定点当たり報告数が新たに**警報レベル**となりました。また、三戸+八戸市保健所管内及び下北保健所管内の定点当たり報告数が新たに**注意報レベル**となりました。一方、上北保健所管内の警報は**解除**となりました。

※現在、国及び国立健康危機管理研究機構が警報・注意報の基準値について確認を進めているところですが、県の週報に記載する発生動向では、当面の間、従前の基準値を用いて注意喚起を行います。

<感染症の窓>

今週のテーマは「後天性免疫不全症候群」です。最終ページに掲載しています。

II 第 47 週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

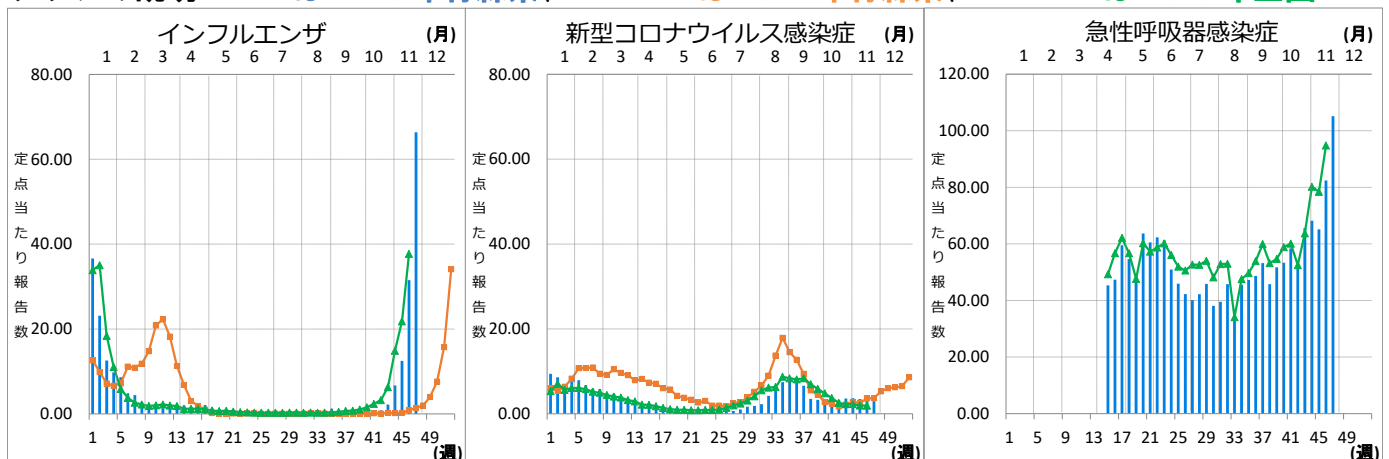
青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

は警報、は注意報。「空欄」：患者報告無し。

		東青 (東津軽+ 青森市保健所)		中南 (中南保健所)		三八 (三戸+ 八戸市保健所)		西北 (西北保健所)		上北 (上北保健所)		下北 (下北保健所)		青 森 県 計		前週 からの 増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
急性 呼吸器 感染症	インフルエンザ	935	85.00	372	37.20	665	66.50	249	41.50	738	82.00	492	82.00	3451	66.37	1813
	新型コロナウイルス感染症	20	1.82	30	3.00	30	3.00	27	4.50	35	3.89	13	2.17	155	2.98	-9
	急性呼吸器感染症	1911	173.73	687	68.70	820	82.00	409	68.17	1090	121.11	550	91.67	5467	105.13	1180
小児科	RSウイルス感染症	1	0.17	3	0.50	2	0.29	2	0.40	1	0.17			9	0.26	3
	咽頭結膜熱	1	0.17	1	0.17	4	0.57	1	0.20			1	0.25	8	0.24	1
	A群溶血性レンガ球菌咽頭炎	1	0.17	3	0.50	7	1.00			2	0.33	7	1.75	20	0.59	-11
	感染性胃腸炎	12	2.00	9	1.50	40	5.71	22	4.40	3	0.50	1	0.25	87	2.56	13
	水痘	12	2.00	5	0.83	12	1.71	1	0.20	5	0.83	7	1.75	42	1.24	16
	手足口病					1	0.14							1	0.03	1
	伝染性紅斑					2	0.29	2	0.40					4	0.12	0
	突発性発しん	5	0.83			4	0.57	1	0.20					10	0.29	5
	ヘルパンギーナ					5	0.71							5	0.15	5
	流行性耳下腺炎															0
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎			1	0.33	2	1.00							3	0.33	2
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎	1	1.00	1	1.00			3	3.00	1	1.00	1	1.00	7	1.17	-8
	無菌性髄膜炎															0

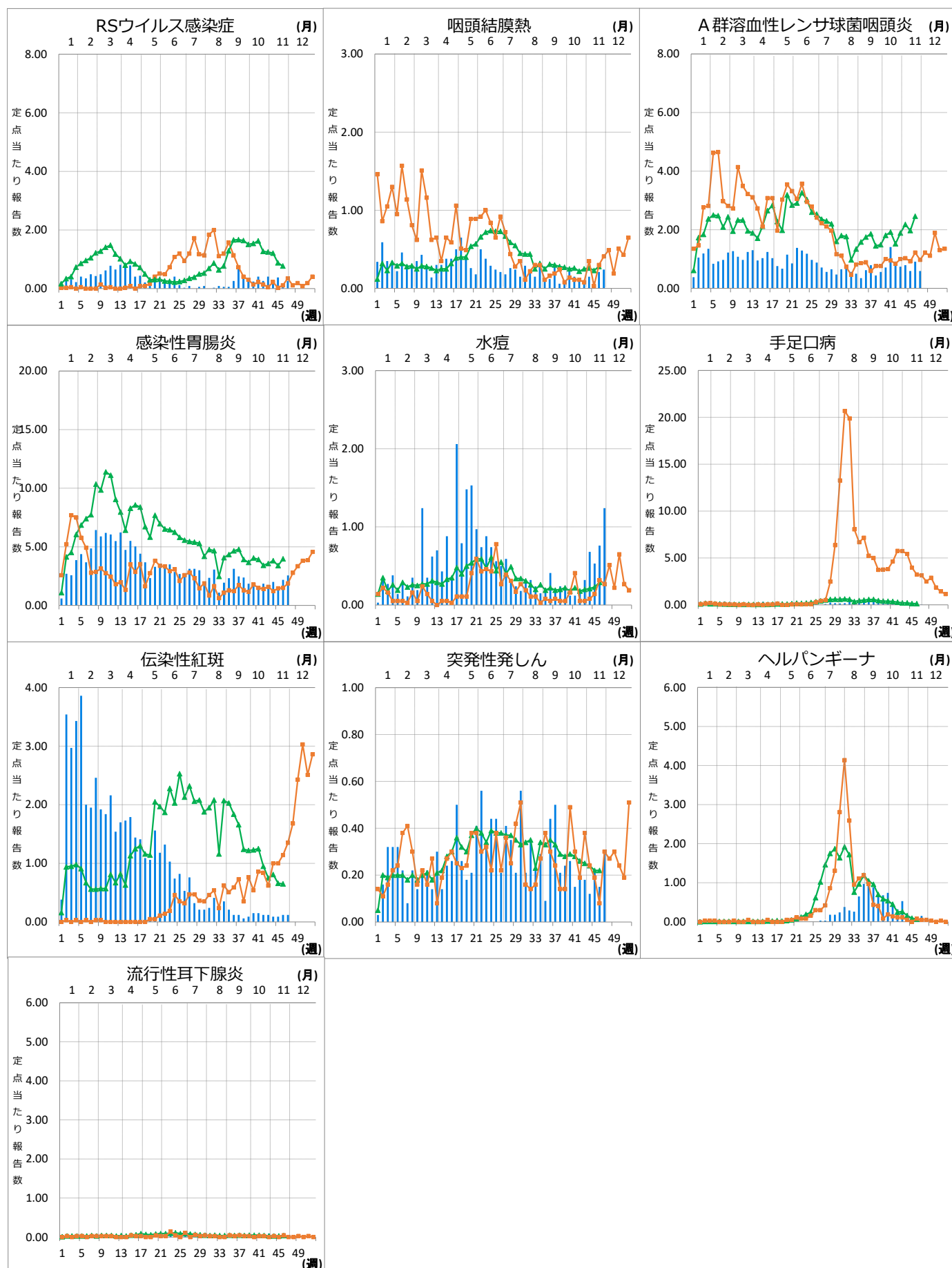
III 定点把握対象疾患週別推移 (急性呼吸器感染症定点) (2025 年第 47 週、ただし全国は前週)

グラフの説明 〓は 2025 年青森県、■は 2024 年青森県、▲は 2025 年全国

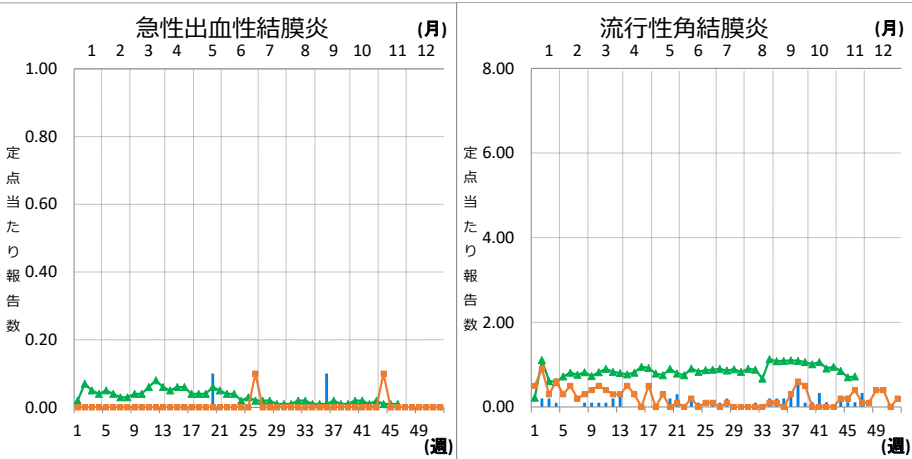


Ⅳ 定点把握対象疾患週別推移（小児科定点）（2025 年第 47 週、ただし全国は前週）

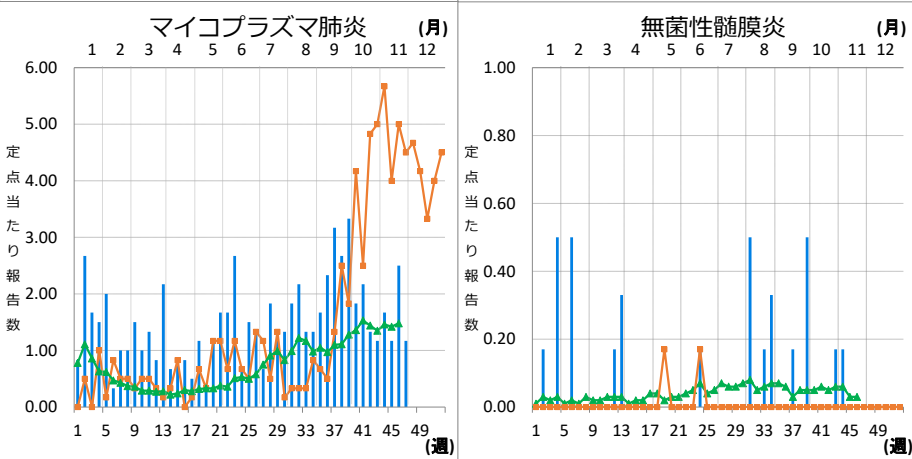
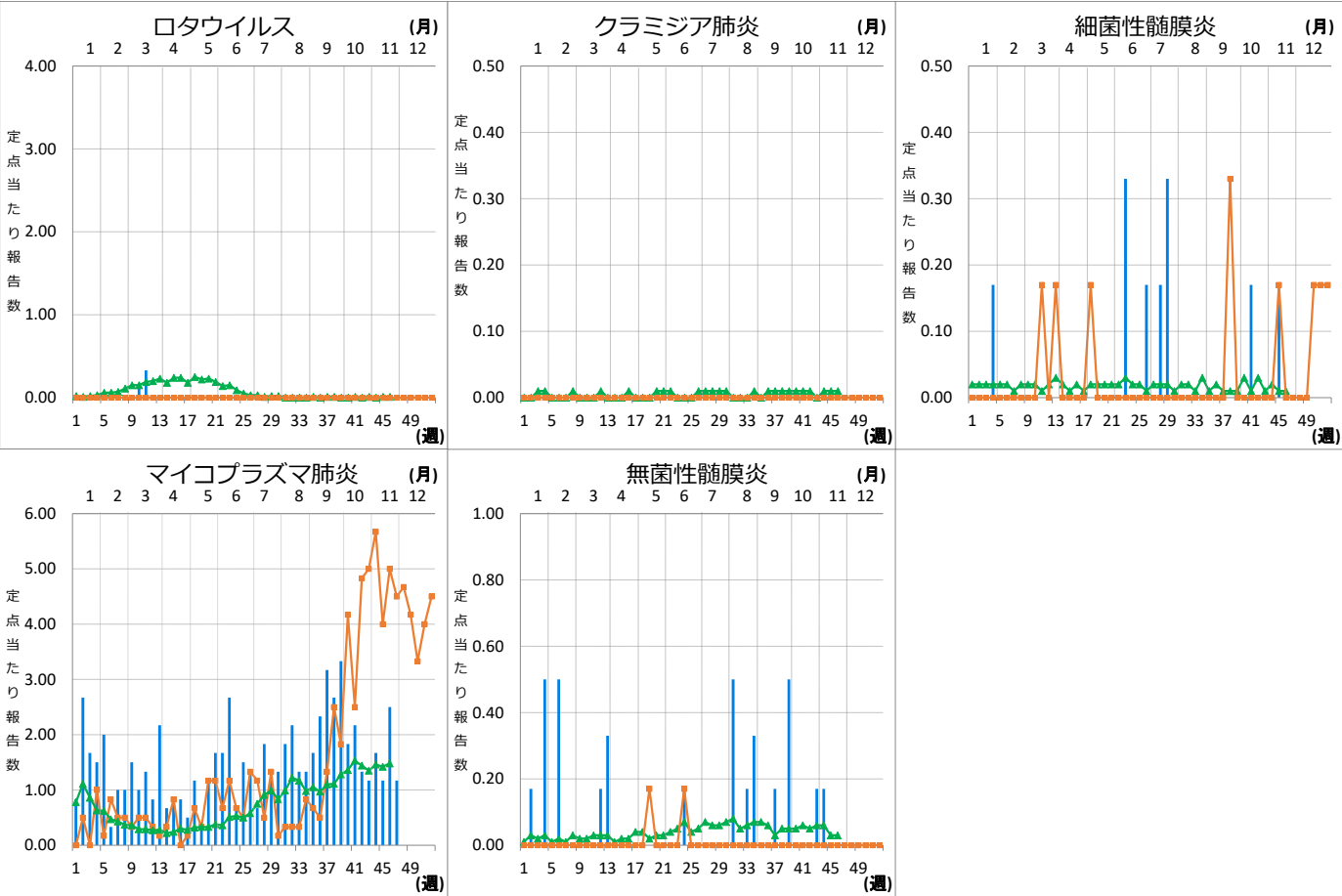
グラフの説明   は 2025 年青森県、 は 2024 年青森県、 は 2025 年全国



V 定点把握対象疾患週別推移（眼科定点）（2025 年第 47 週、ただし全国は前週）
 グラフの説明👉——は 2025 年青森県、■——■は 2024 年青森県、▲——▲は 2025 年全国



VI 定点把握対象疾患週別推移（基幹定点）（2025 年第 47 週、ただし全国は前週）
 グラフの説明👉——は 2025 年青森県、■——■は 2024 年青森県、▲——▲は 2025 年全国



Ⅶ 急性呼吸器感染症(ARI)病原体検出情報

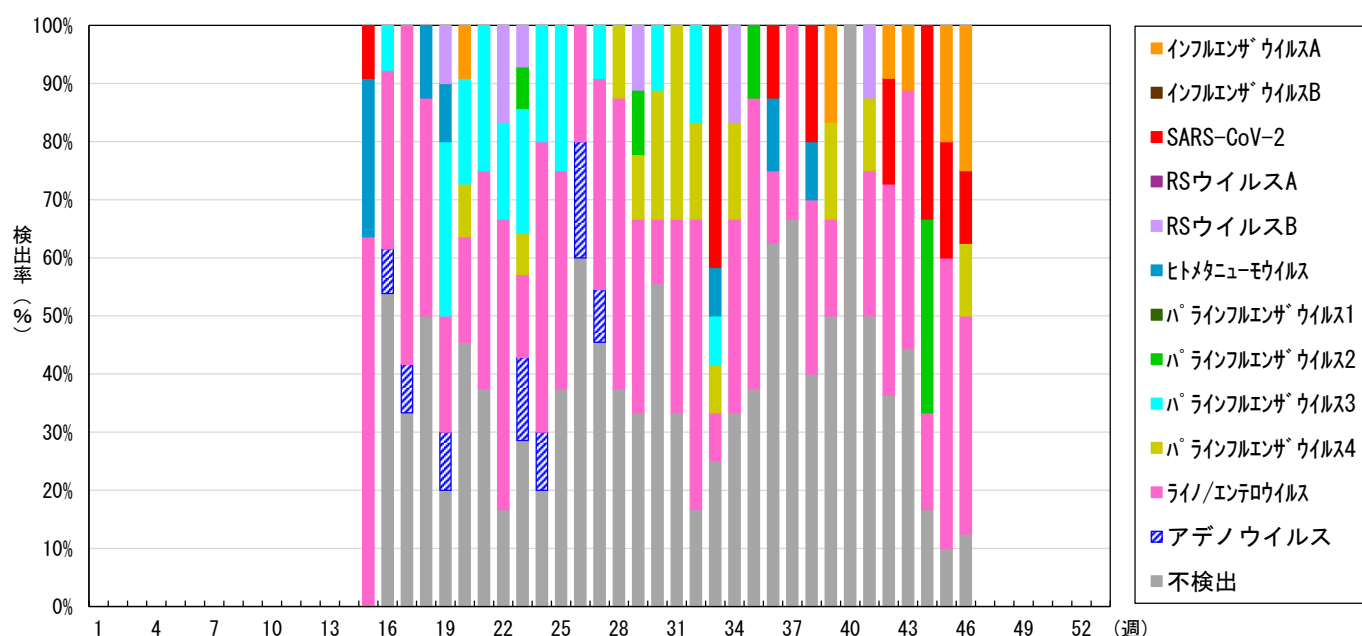
(1) 急性呼吸器感染症病原体定点からの提出検体数及び結果判明分 (2025 年第 40～47 週)

急性呼吸器感染症	2025年							
	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週
提出検体数	6	8	11	9	5	10	7	10
インフルエンザウイルスA	0	0	1	1	0	2	2	
インフルエンザウイルスB	0	0	0	0	0	0	0	
SARS-CoV-2	0	0	2	0	2	2	1	
RSウイルスA	0	0	0	0	0	0	0	
RSウイルスB	0	1	0	0	0	0	0	
ヒトメタニューモウイルス	0	0	0	0	0	0	0	
パラインフルエンザウイルス1	0	0	0	0	0	0	0	
パラインフルエンザウイルス2	0	0	0	0	2	0	0	
パラインフルエンザウイルス3	0	0	0	0	0	0	0	
パラインフルエンザウイルス4	0	1	0	0	0	0	1	
ライノ/エンテロウイルス	0	2	4	4	1	5	3	
アデノウイルス	0	0	0	0	0	0	0	
不検出	6	4	4	4	1	1	1	
検査待ち	0	0	0	0	0	0	0	10

※第44週に提出された検体のうち、ヒトパラインフルエンザウイルス2及びライノ/エンテロウイルスが重複して検出されたものが1検体ありました。

※第46週に提出された検体のうち、ヒトパラインフルエンザウイルス4及びライノ/エンテロウイルスが重複して検出されたものが1検体ありました。

(2) 検出された病原体の週別推移 (2025 年第 15 週～)



Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（第 47 週）

- ・結核（二類感染症）：八戸市 1 人 (2025 年計： 102 人)
- ・レジオネラ症(四類感染症)：西北 1 人 (2025 年計： 12 人)
- ・梅毒(五類感染症)：青森市 2 人、八戸市 1 人 (2025 年計： 23 人)
- ・百日咳(五類感染症)：青森市 3 人 (2025 年計： 753 人)

Ⅸ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2025 年第 44 週～2025 年第 47 週）

週	東青 (東津軽保健所+ 青森市保健所)	中南 (中南保健所)	三八 (三戸保健所+ 八戸市保健所)	西北 (西北保健所)	上北 (上北保健所)	下北 (下北保健所)
44	結核1人 レジオネラ症1人 百日咳2人	梅毒1人 百日咳1人	つつが虫病2人		侵襲性肺炎球菌感染症1人	
45		結核1人 レジオネラ症1人 百日咳3人	百日咳1人			
46	結核1人 水痘(入院例)1人 百日咳1人	腸管出血性大腸菌感染症1人 劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人 百日咳1人	結核1人			
47	梅毒2人 百日咳3人		結核1人 梅毒1人	レジオネラ症1人		

第 45 週に、百日咳の届出が中南保健所管内で 1 件、第 46 週に、劇症型溶血性レンサ球菌感染症の届出が中南保健所管内で 1 件ありましたので追加しました。

X 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2025 年第 1 週～第 46 週までの累計）										
分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	エムボックス
累積報告数	12517	4	51	3947	29	8	511	121	26	9
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	オウム病	回帰熱	コクシジオイデス症	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱
累積報告数	10	6	6	1	186	2	20	124	151	655
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類
疾病名	日本脳炎	ブルセラ症	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎
累積報告数	2	1	1	19	18	1	2167	57	396	219
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症
累積報告数	1083	32	496	23	160	1210	756	33	583	70
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	2959	584	12179	150	85	81	86214	11	239	9

青森県（2025 年第 1 週～第 47 週までの累計）

分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性脳炎
累積報告数	102	37	1	17	1	1	12	1	9	1
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	
疾病名	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	破傷風	百日咳	
累積報告数	4	6	2	4	15	1	23	1	753	

XI 病原体検出情報 ※（ ）内は、検査材料及び検体採取日
突発性発疹患者（咽頭ぬぐい液（鼻汁）、9/22）・・・ヒトライノウイルス A：中南 1 人
喘息様気管支炎患者（咽頭ぬぐい液（鼻汁）、6/3）・・・ヒトライノウイルス C：下北 1 人
つつが虫病患者（痂皮、5/16（八戸市）、5/19（青森市））
・・・Orientia tsutsugamushi（Karp 型）：青森市 1 人、八戸市 1 人

XII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2025 年第 47 週

報告週	施設種別	発症者数	管轄保健所
第47週	報告なし		

2025 年報告件数及び症者数

月(週)		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月				12月	計
施設種別		1-5週	6-9週	10-13週	14-17週	18-22週	23-26週	27-31週	32-35週	36-39週	40-44週	45週	46週	47週	48週	49-52週	(施設別)
介護・老人福祉関係施設	件数	1	4	4	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0			14
	発症者数	7	70	69	78	11	0	0	0	0	0	0	0	0			235
児童・婦人関係施設等	件数	4	10	8	7	1	3	1	1	0	0	0	0	0			35
	発症者数	74	228	136	128	25	50	22	13	0	0	0	0	0			676
障がい関係施設	件数	0	2	2	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0			7
	発症者数	0	37	25	10	5	0	11	0	0	0	0	0	0			88
その他施設	件数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0			1
	発症者数	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0			10
計(月別)	件数	5	16	14	12	3	4	2	1	0	0	0					57
	発症者数	81	335	230	216	41	60	33	13	0	0	0					1009

感染症の窓

後天性免疫不全症候群（AIDS：エイズ）とは、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）に感染して免疫力が低下し、日和見感染症や悪性腫瘍が生じた状態をいいます。

HIV は感染力が弱く、握手や入浴などの日常生活ではうつりません。主な感染経路は、「性的接触による感染」、「血液を介しての感染」、「母子感染」の3つに限られているため、正しい知識を持って予防対策をとることで、HIV 感染のリスクを減らすことができます。

今のところ、体の中にある HIV を完全に取り除くことはできませんが、体内の HIV の増殖を抑え、免疫力の低下を防ぐことができます。早期に感染を知り、治療を始めることで、HIV に感染していない人と同じように長く、健康的な社会生活を送ることができるようになりました。なお、エイズ発症後の治療は、発症前と比べて難しくなるため、HIV 感染を早期に発見し、早期治療につなげることが重要です。

県内各保健所では、エイズを含む性感染症の相談・検査を匿名・無料で受け付けています。HIV 検査はその日のうちに結果がわかる即日検査（夜間検査もあり）です。まずは、最寄りの保健所（エイズ相談専用電話）にお気軽にご相談ください。

○詳しい情報はこちらをご覧ください。

青森県 STOP AIDS



後天性免疫不全症候群

**エイズは、きちんと治療すれば
他の人に感染しない
ウイルスです。**

検出されない **性感染しない**
Undetectable = Untransmittable

12月1日は世界エイズデー

※U=Uとは、治療継続することで、自分のウイルス量が検出されない状態に達し、その後も少なくとも4年間継続されている状態のHIV感染者から、性感染症を通じてHIVが感染することはないことが知られます。

厚生労働省 公益財団法人エイズ予防財団

出典：（公財）エイズ予防財団ポスター